

## 会 議 要 旨 書

会議名	第 21 期三鷹市立図書館協議会 第 15 回定例会
日 時	令和 5 年 5 月 18 日（木）午後 2 時
場 所	三鷹市立三鷹図書館（本館）第 1 集会室
出席委員 (8 人)	山下政一 小谷奈保子 松田秀穂 土屋菜々 倉田清子 間部豊 松本直樹 横山和男（敬称略）
欠席委員 (2 人)	大塚敦子 梅林愛子（敬称略）
行政職員 (5 人)	三鷹市立三鷹図書館館長 大地好行 図書サービス係長 池上真理子 管理係長 榛澤孝 同係主任 飯泉路子 同係主事 岩崎祐美
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0 人
【議事】 1 前回の協議内容の確認について  2 行政報告	<p>A 委員 前回の協議内容について 意見なし</p> <p>大地館長 行政報告書の資料に沿って説明 A 委員 蔵書点検を実施している中で、資料等の紛失率は何%か。 大地館長 0.03%。実数では、77 万 3 千冊の内 224 冊を紛失しています。 A 委員 ほとんど無くなっていないといえる。 蔵書点検は、資料の紛失や配架間違いの確認作業だが、休館して まで毎年行うべきなのか。 大地館長 休館日数の兼ね合いから、2 年に 1 回に減らしました。 A 委員 貸出ミスも蔵書点検で見つかるのか。 大地館長 返却されないで書架に戻されている場合や書架違いが見つかり ます。 IC タグ導入時に蔵書点検を正式に行うようにし、全館で行って いる。休館にせざるを得ないので、2 年に 1 回としています。 A 委員 ほとんど紛失していないのであれば、2 年に 1 回が妥当と思う。 B 委員 蔵書点検では、1 冊ずつ確認はしていないのか。 大地館長 IC タグ導入後はしていません。 B 委員 利用者から、書架にあるはずの本が無いというような問い合わせは あるのか。 大地館長 ほとんどありません。</p>

3 「三鷹市立図書館の基本的運営方針」の点検・評価について

大地館長 令和4年度(2022年度)三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価に沿って説明。

毎年内部的に行い、皆さんにお示ししご意見を付して完成させています。

数値目標及び図書館活動に対する評価それぞれ行っています。

【数値目標に対する点検・評価について】説明

A委員 協議会としてやるべき事は、点検評価の説明を受けて、意見を出し、まとめた上、来月には文案を作成していきます。

3点質問があります。

1点目、貸出点数は指標の取り方の変更で数値が増えているとあったが、数値の取り方でどの程度影響が出ているのか。

また、変更があった旨をどこかに記載しておけば変化が読み取れるのではないのか。

2点目、点検評価は確定している文書なのか。

修正可能であれば2019年度は、コロナの影響がないのでその数値を出して比べれば明確なのではないのか。

3点目、アンケートで電子書籍サービスの満足度がかなり改善しているが、他の満足度と比べると低くなっている。その部分についてどの様に分析しているのか。

大地館長 点検評価は変更可能なので、是非ご意見をいただきたい。

利用者アンケートに回答してくださった方は、来館利用が多い。

みたか電子書籍サービスの利用者は、来館しない利用者が多いと思われる。よってみたか電子書籍サービスの満足度に影響が出たと分析します。

みたか電子書籍サービスのラインナップも限られた予算ではあるが、充実を進めていきたい。

B委員 電子書籍サービスのサイト上に、アンケートを設置するような工夫はされたのか。

大地館長 利用者アンケートの告知はホームページ上で行っているが、みたか電子書籍サービスのみを利用されている場合には、告知の情報は捉えにくい構造でした。

B委員 バナーの一つにリンクを貼り、アンケート実施中の情報を提供する工夫もあるのではないのか。

大地館長 利用者アンケートへのQRコード付きのチラシは作成した。

バナーを利用する方法は有効なので、次回検討していきます。

続いて【図書館活動に対する点検・評価について】説明

A委員 基本的運営方針はどのレベルの計画なのか。

取り組み内容は詳細に計画するのか。

大地館長 教育部の基本方針及び基本計画に年度の事業は集約しており、運営方針については、方向性や考え方についてお示ししています。

A委員 施設設備として、図書館には和式トイレはあるのか。

大地館長 本館男性トイレに和式トイレはあります。和式トイレのみの館はありません。

A委員 和式はあまり利用されないような気がする。

大地館長 あまり利用しないと思います。

A委員 電子書籍の貸出件数は、単独で出した方が良い。電子書籍は費用が高い割に利用は少ないので、図書館としても苦勞していると思う。

データベースでは、ジャパンナレッジは入っているのか。

大地館長 既に導入されていて、本館と南部で利用者に提供しています。

B委員 レファレンスサービスでは、Web での質問の方が利用しやすいと思っていたが、割合的には来館者の受付が多いが何か理由があるのか。

大地館長 図書館カウンターでは、読書案内など細かい対応もレファレンス件数でとっているのがカウンター受付分が多い結果となっています。

B委員 本格的な調査件数は把握しているのか。

大地館長 調査票に残すものについては、把握できます。

B委員 調べ物や相談を受付ける旨の周知をしたほうが良い。

大地館長 インフォメーションサービスのアイコンもカウンターに出しています。

次に【すべての人に読書の楽しみを広げる図書館について】説明

A委員 国が読書バリアフリー基本計画を策定したが、三鷹市立図書館として計画していることはあるか。

大地館長 今後、三鷹こども読書プラン等の改定があるので、そのタイミングで検討していきます。

A委員 従来の読書バリアフリー法だと、視聴覚障がい者を対象としていたが、上記の基本計画は視覚障がい者等ということで、視覚障がい者以外の対象者も増えているので、今後変わってくるのではないか。

大地館長 障がいの種別によっては、サービスがどこまで提供出来るか非常に難しいが、検討していきます。

次に【市民とともに歩み、交流する図書館について】説明

B委員 みたかとしょかん図書部！の対象は。

大地館長 募集対象は、中高生から20歳までとなっています。

B委員 1年間の取り組みはまとめているのか。前年度やコロナ前との比較を加えることは可能か。伸びているのかどうなのかがわからない。

大地館長 前年度実績を加えることは出来ます。

<p>4 その他</p>	<p>B委員 分析的な視点があると良い。</p> <p>A委員 他の項目にも分析的な記載があるので、加えた方が良い。</p> <p>C委員 目標を掲げていた事業に対し、達成した部分を明記して欲しい。</p> <p>大地館長 事業を実施する事が重要であって、図書館を楽しむ、自己実現をしていただく場としているので、目標値を出すのは難しい。</p> <p>また、サポーター活動については、強制するものではないので、目標値を立てて取り組むものではない。</p> <p>C委員 協議会は外部評価なので、図書館の分析に対して評価を行う。</p> <p>A委員 今後の方向性を示すとしている以上は、明確化していく必要がある。</p> <p>B委員 活動内容について、参加者の満足度を調査していけば見えてくるのではないか。</p> <p>大地館長 アンケート等の分析を、検討していきます。</p> <p>C委員 利用者アンケートの結果だけでなく関わった者がどうだったかという評価にしたらどうか。外部評価は、図書館の困っている部分を応援できるようにすれば良い。</p> <p>大地館長 分析や取り組み内容についても今後改善していきます。</p> <p>D委員 仕組みを見直す時期にきている。</p> <p>C委員 ボランティア側も受動的な活動をしたい方も中にはいらっしゃる。</p> <p>大地館長 サポーターは自発的に活動していく取り組みになって欲しい。</p> <p>次に【市民の期待に応える図書館について】説明 意見なし</p> <p>A委員 全体的なまとめについてだが、事業についての改善点や代替案、また、評価的な部分についての妥当性や適切性という大きな2つの観点で意見を出して欲しい。</p> <p>図書館宛に6月1日までに意見を出し、会長が取りまとめる形にします。</p> <p>A委員 特になし</p> <p>次回は令和5年6月15日（木）午後2時から 三鷹市立図書館第一集会室で開催</p>
--------------	---